


単元名


思いをつなげる4YOU チーム 
～守ろう天応・災害伝承大作戦～

 令和7年 10月2日 (木)
 4A教室 計21人

「本質的な問い」・「単元を貫く問い」について

本質的な問い	命を守るために、自分たちにできることは何だろう。
単元を貫く問い	豪雨災害で得た教訓から、自分たちにできることは何だろう。

単元（題材）について 【単元観】

本単元「思いをつなげる4YOU チーム  ～守ろう天応・災害伝承大作戦～」は、平成30年7月豪雨によって天応地区が受けた被害と、その経験から得た教訓をもとに、命を守るために今の自分たちにできることを考え、行動することを目指すものである。

4年生の多くは災害当時の記憶をもたず、被災の話を聞く機会はあるものの、正確な理解や主体的な学びには至っていない。そうした背景から、まずは地域で実際に起きた災害や被災した人々の思いに触れ、自分ごととして受け止めることが必要である。同時に、低学年の中には、天応が被災したこと自体を知らない子もいるという実態に触れ、自分たちにできることは何かという課題に迫る。児童は、被災体験の聞き取りや現地踏査、災害伝承を担う方々へのインタビュー等を通して情報を収集し、課題解決に向けて対話的な学びを重ねる中で、情報の整理分析の仕方を学ぶ経験を積んでいくとともに、命の大切さや防災への関心を高めていく。また、得た学びや思いを下学年児童、地域や次世代の後輩へ伝えつなぐため、適切な方法は何か考え表現する活動を通して、地域と未来を思いやる姿勢を育てていくことが期待される。

このような学びを通じて、児童一人一人が、天応に暮らす一員として主体的に関わり、自分たちにできることを実行する探究的な学習の過程において、本単元の目標にある資質・能力の育成を目指している。

児童について 【児童観】

- ① 自分の住む地域で起きた災害に関する理解が不十分である。
 地元・天応が「平成30年7月豪雨」でどれだけの被害を受けたか知っているか尋ねると、55%の児童は「知らない。」と答え、「自分の住む地域に起こりやすい災害について理解しているか。」の問いには45%の児童が「分からない」と答えている。当時は幼く記憶も残っていない児童がほとんどで、入学以来、防災について情報収集した機会はあるものの、十分理解していない実態がある。
- ② 自分の思いを言語化することが難しい。
 アンケートにおいて「授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしている。」と答える児童が多く、特に総合的な学習の時間では、話し合いを通して自分たちで考え、工夫していく学びの楽しさを感じている姿が見られる。一方で、各教科の学習を含め、情報を整理し、自分の思いや考えを言語化・文章化して相手に分かりやすく表現することが難しい児童が多い実態がある。
- ③ 互いによさを認め合う経験が不足している。
 自分のよさは、友だちから認められていない、と感じる児童が42%で、集団の中で力を十分に発揮したり活躍できたりしていないと感じる児童が多い実態がある。互いを思いやりながら、よさを認め合い、安心して協働できる関係を望んでいる。

指導の工夫について 【指導観】

- ① 自分ごととして防災を学べるようにする。
 被災当時、4年生自身が2歳と幼かったことに加え、1年生はまだ生まれていない子や生後間もない子もいたと知ること、当時の災害のことを「知ることや「知らせる」「教え伝える」ことの必要性に気付く。また上級生、家族、地域の方を含め、当時を体験した方の話を聞くことで、当時の災害の大きさを再認識するとともに、今の生活が多くの人々の努力の上に成り立っていること、自助による備えの大切さを、自分ごととして学び理解することに繋げる。
- ② 自分の思いを言葉で表現できるようにする。
 願いやお礼の手紙を書く活動や、集めた情報を整理して伝える活動においては、相手意識や目的意識を明確にしてまとめることで自分の考えを一層確かなものにさせていく。また、対話的な学びにおいて、思考ツールなどの「考えるための技法」を使い、情報の「可視化」「操作化」を児童が経験することで知識の構造化や思考の整理の仕方を身に付ける機会とする。
- ③ 協働する中で互いによさを認め合う経験を積む。
 興味関心や経験が異なる児童同士で意見を出し合い、協力することによって、互いによさや可能性を尊重し合う態度の育成につなげる。また、友達や専門家からの助言、地域の大人からの激励を受ける場面を設定することで、友達や身近な人と力を合わせて取り組むことのよさや意義を実感させる。

1 単元目標

平成30年7月の西日本豪雨災害についての事実や、被災した人々の思いに触れることを通して、災害への備えや自助の大切さ、自分と地域を支える人の努力や工夫を理解し、その学びや思いを地域や次世代につなぐ伝え方を工夫し、表現する方法を考えるとともに、天応地域に暮らす一人として防災への意識を高め、命を守るためにできることを実行することができるようにする。

2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①災害への備えや自助の大切さ、自分と地域を支える人の努力や工夫を理解している。</p> <p>②天応における自然災害の状況や防災上の特徴を捉えるために必要な情報について、手段を選択して多様な方法で収集したり、種類に応じて蓄積したりしている。 【情報収集力】</p> <p>③「天応の人が災害時に命を守る行動をとれるようになってほしい」という意識の高まりは、地域の人・ものことと関わりながら探究的に学んだことによる成果であると気付いている。</p>	<p>①安心して過ごせる地域づくりのための課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にしながから、計画を立てている。</p> <p>②被災した身近な人に当時の様子を聞いたり、正確なデータを図書メディアセンターや ICT を活用して調べたりして、必要な情報を集めている。</p> <p>③集めた情報を表やグラフ、思考ツール等を用いて分類、整理し、特徴を見付け説明している。 【情報活用力】</p> <p>④発信したい内容を分かりやすく伝えるための方法を考え、根拠をもちながら相手に応じて分かりやすく表現している。 【批判的思考力】</p>	<p>①探究活動の中で、自分や友達の意見や考えそれぞれによさがあることを知り、学び合おうとしている。 【協働性】</p> <p>②身近な人と協力して進んで探究活動を行おうとしている。 【協働性及び挑戦心】</p> <p>③地域との関わりの中で、自分にできることを見付けようとしている。 【挑戦心】</p>

※本校で重点的に育成を目指す資質・能力【情報収集能力、情報活用力及び批判的思考力、協働性及び挑戦心】

3 単元の計画 (全70時間)

小単元 (時数)	学習内容	評価規準			他教科等との関連	
		知	思	態		
1 天応に起こった災害、当時の様子や被災した人の思いを知ろう。(27)	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちは平成30年7月豪雨(西日本豪雨)のことをどれだけ理解しているかを確認する。 アンケートの結果から、課題を見付ける。 		①		ワークシート 振り返り	
	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年7月豪雨の正しい記録を集める。 7年前のことを知る方から、西日本豪雨による天応地区及び天応中学校の被害と、被災を経験した上での思いを聞く。 豪雨災害の恐ろしさや、避難することの大切さについて知る。 	①			ワークシート 振り返り	国語科 「話を聞いて質問しよう」
	<p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 誰に何を伝えたいかを明確にし、収集した情報を整理・分析する。 正しい情報を選んでいるかどうか、天応地区のみんなにどうなって欲しいのかという視点で整理する。 	②			行動・発言 ワークシート 振り返り	国語科 「じょうほうのとびら引用する」

	<p>まとめ・表現 実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームに分かれ、意見を出し合いながら集めた資料をまとめる。 ・伝えたい相手に伝わるかどうかを考えながら資料をまとめ、防災集会で発表する。 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表したことによる自分の成長について振り返る。 	②	①	ワークシート 制作物 振り返り	
2 西日本豪雨の記録と記憶をどう生かすか考えよう。(20)	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災集会の取り組みを振り返り、天応の人達の命を守る取組について考える。 ・より多くの人に伝える方法や手段を考える。 		③	ワークシート 振り返り	国語科 「お願いやお礼の手紙を書こう」
	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小単元1で調べた情報について、実際に見に行くなどしてその内容を確認する。 ・当時の被害の様子を、実感を伴って理解する。 ・防災公園に込められた思いや、被災した人の思いを収集する。 		②	ワークシート 振り返り	道徳 「もっこを背負って(C13)」 理科 「水の流れとかたむき」
	<p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理し、大切だと思うことを考える。 ・なぜ伝えるのかという視点をもとに、どのような形で伝えるのがよいかを考える。(本時) <p>【本時3/6】</p>		③	ワークシート 振り返り	社会科 「自然災害からくらしを守る」
	<p>まとめ・表現 実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも見てもらえる形で、自分たちの伝えたいことをまとめる。 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表したことに対して、アンケート等で意見をもらう。 		④	ワークシート 振り返り	
3 今できる「未来に向けた取組」を実行しよう。(23)	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たち(4年生)にできる「伝承」はどんなものがあるかを考える。 		③	ワークシート 振り返り	社会科 「残したいもの 伝えたいもの」
	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝承の手段について、校内外のいろいろな立場の人に意見をもらう。 ・誰を対象とするかを明確にして、手段を決定する。 	②		ワークシート 振り返り	国語科 「自分なら、どちらを選ぶか」
	<p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことが伝わる工夫を考えて、情報をまとめる。 ・身近な人に見てもらい、感想をもらう。 		②	ワークシート 振り返り	
	<p>まとめ・表現 実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成したものを披露する。 ・保管する場所を検討し、協力をあおぐ。 <p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して、自分の成長を振り返る。 	③	④	ワークシート 制作物 振り返り キャリア・ログ	道徳 「わたしたちの宝『灰ケ峰』(D19)」

4 本時について (本時 40/70)

(1) 本時の目標

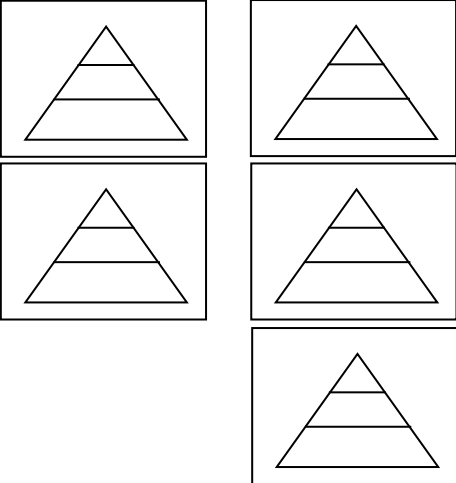
防災学習で得た情報の中から、天応伝承館 (仮) に残したい内容や文化祭で伝えたい内容を話し合い、自分の考えを理由とともに説明することができる。

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点	◎評価規準 (評価方法) ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て
導入	1 本時のめあての確認をする。 ・地域のゲストティーチャーから教えてもらった情報を、短冊で想起する。	◇元天応中学校の先生方から教えてもらった情報 (データ) を整理・分析したことを振り返り、本時は地域のゲストティーチャーからの情報を整理・分析することを確認する。 ◇情報整理の観点の明確化のため、児童と目的を想起できるようにする。	
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">(めあて) 天応伝承館 (仮) に展示したい内容について説明しよう。</div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>相手: 天応の子どもたち (地域の人) 目的: 天応で過去に何があったかを知ることによって災害の恐ろしさを理解し、どうすべきか自分で考えたり備えたりすることで、自分の命を守ってほしい。</p> </div>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">【中心発問】 その内容で4YOU チームの目的が達成できると思うのはなぜだろう。</div>		
	2 グループで自分の意見を説明する。 ・個人で選んだ「伝承館 (仮) に展示したい内容」と、その理由を班のメンバーに説明する。	◇自分の意見と友達の意見を比較しながら、受容的な雰囲気話し合うことができるようにする。	◆自分の理由を説明しにくい児童は、友達の意見を参考にして、自分の理由を一つ以上言えるようにする。
	3 グループでピラミッドチャートを使って意見を絞る。 ・班の中でいくつか絞り、その理由を明確にしておく。	◇班のワークシート (ピラミッドチャート) に貼った付箋を話し合いながら操作して、内容の必要性を整理できるようにする。	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p>(深い学びにするための「しかけ」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「たくさんの方が選んだ内容」と「一人が書いたけれど、他の人も納得した内容」を視点として整理することで、理由に着目させる。 ・「誰に見に来てほしいか」と問いかけることで、展示内容をより具体的にイメージできるようにする。 ・繰り返し発問をすることで、児童のこれまでの学習における経験と結び付けて考えられるようにする。 </div>			
4 全体共有する。 ・各班で選んだものを発表する。	◇各班のワークシートを全体で確認して、共通点を見付けるよう促す。 ◇伝える方法 (展示の仕方) や文化祭にも言及する発表内容は、板書で記録しておく。	◎集めた情報を思考ツール等を用いて分類、整理し、特徴を見つけ説明している。(発表・ワークシート) ㊦③	

終末	5 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。	◇話合いの中で気付いたことや大切だと思ったこと等の振り返りの視点を示す。
	<p>(振り返りの例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前の時間にピラミッドを使って整理したから、今日もピラミッドを使って整理することができた。 ・私は〇〇を絶対に入れたと思って書いたら、他の人も選んでいたから自信をもつことができた。 ・□□さんの意見を聞いて、天応の子どもたちのためには必要なことだと気付いた。 ・ゲストティーチャーから話を聞いた時に、まだ知らないことがあって驚いたから、もっと小さい子どもたちも驚くだろうと思った。 	

5 本時の板書計画

(めあて) 天応伝承館(仮)に展示したい内容について説明しよう。	相手：天応の子どもたち	目的：災害の恐ろしさを知ってほしい。 自分で考えて備えてほしい。 自分の命を守ってほしい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">〇〇さんから教えてもらったこと</div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> </div> <div style="border: 1px dashed black; width: 100px; height: 100px; margin-left: 20px; margin-top: 20px;"></div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">【ふり返りの視点】</div> <ul style="list-style-type: none"> ・他の人の意見から気づいたこと ・話合いの中で上手くいったことや気づいたこと ・これからやってみたいこと

6 本時に関わる単元ルーブリック

観点	思考・判断・表現	
評価規準	集めた情報を、思考ツール等を用いて分類、整理し、特徴を見付け説明している。	
ルーブリック	A	B
	集めた情報を、思考ツール等を用いて分類、整理する際に、友だちの考えを柔軟に受け入れながら、特徴を見付け説明している。	集めた情報を、思考ツール等を用いて分類、整理し、特徴を見付け説明している。

7 配慮の必要な児童の実態について

・A児

自閉症スペクトラムとADHDの診断を受けており、教師からの問いに対し、自分の考えを立て続けに話すことがある。グループ活動では、友達と協力しながら取り組むことができるが、個人活動での書く場面においては、声掛けが必要な場合がある。

【授業での配慮】

書く場面において、困っている状況があれば声かけをする。

・B児

自閉症スペクトラムとADHDと学習障害の診断を受けている。全体指示を集中して聞いたり理解したりすることが難しいため、交流授業はあまり参加できない。書くことが苦手であるため、穴埋めのワークシートを活用したり、タブレットの音声入力機能を活用したりしている。また、気持ちが落ち着かないときの切り替えの手段として、授業時間内のインターバルが効果的である。

【授業での配慮】

全体指示の後、個別に指示内容をかみ砕いて伝える。

書く場面においては、書く量を調整したり音声支援を活用したりする。